



カジノはいらない・コロナ対策の拡充・中学校給食実現

命とくらしが守られる横浜市へ
皆さんの声をぜひお聞かせください

青島まさはる 通信

第17号 2021年6月発行

鶴見区で37年間小学校の
教員をしていました



2021/5/12 横浜市に7回目の要請 命が一番大事 医療、PCR検査の拡充と生活保障を！

5月12日、横浜市安全福祉課に新型コロナウイルス感染症対策強化について、7回目の要請を行いました。横浜市の記者発表ではコロナ感染者のうち自宅療養が676名。(5/7現在)また、30分以上搬送先が見つからない緊急搬送困難事案も横浜市内で100件。(5/3~9消防庁調査)医療を十分受けることができず、自宅で療養中に亡くなる方が出ているような状況です。

それは家庭内感染の原因にもなっています。国や横浜市の対策は、個人の努力と保障のない自粛ばかりです。このままでは、大阪で起きていることが明日の横浜になるかもしれません。横浜市には、主に下記の3点を要請し、特に急死や感染拡大につながる「自宅療養」という名の「自宅放置」の改善を強く要望しました。



5月12日デジタル統括本部との話し合い

- ①私たちは大規模PCR検査の実施を求めます。広島県や世田谷区では、大規模な検査を行って無症状者を隔離・保護しています。(高齢者、保育園等施設での一斉定期的検査)
- ②医療関係者の待遇改善・医療体制の充実を求めます。
- ③生活困窮者への生活保障の充実を求めます。

同日、デジタル関連法が国会で強行成立されました。今後、「自治体が個人情報を守っていくのか」が焦点になります。横浜市デジタル統括本部もその点を認めています。今後も継続して話し合いを持っていきます。



コロナ
なんでも相談

電話 or メールで
ご連絡ください。
お力になれるよう
頑張ります。

平和と民主主義をともにつくる会・かながわ

〒230-0061 横浜市鶴見区佃野町1-7深谷ビル1階

090-6536-1533

tomonikanagawa@gmail.com



LINE@



青島まさはる



ホームページはこちらを検索

ホームページ